

第1回福岡市ヨットハーバーに係る指定管理者選定・評価委員会 議事要旨

○日時：令和6年6月24日（月） 10時00分～11時30分

○場所：福岡市港湾空港局局議室

■審議事項1（評価委員会）

（1）市評価の確認

【委員】

これまでもヨットハーバーの利用者協議会等の場で、指定管理者に対する利用者目線でのご意見を申し上げてきたが、市の評価に利用者の声が十分に反映されていない部分もあるように思う。

【委員】

市ではモニタリングに際して、利用者に対してもヒアリングを行うものなのか、あるいは、あくまでも指定管理者に対してのみ行うものなのか。

【事務局】

モニタリングでは指定管理者に対するヒアリングを踏まえて評価シートを作成しているが、アンケートや利用者協議会にて利用者の皆様からもご意見をいただく機会を設けている。

【委員】

これまでも利用者協議会等、ご意見を申し上げる機会を作っていたが、利用者がどのように受け止めているのかという点も市の評価の際に考慮していただきたい。

【委員】

各委員からのご意見等も踏まえて、指定管理者へ適切な指示・指導を行い、今後とも、市民サービスの向上や効率的な施設管理等、指定管理者制度の適切な運営に努めていただきたい。

■審議事項2

（1）募集要項等に関すること

【委員】

事業者提案を求めものとして、管理運営業務と自主事業があり、そのうち管理運営業務には「市企画事業」と「指定管理者企画事業」の2種類があるとのことだが、それぞれの具体例としてどのようなものがあるのか。

【事務局】

現在の指定管理者を例にあげると、市企画事業としてヨット教室を、指定管理者企画事業として小戸カップというヨットレースを実施している。自主事業では、マルシェやドッグラン等を展開し、ヨットハーバーへの集客を図っている。

【委員】

市のねらいとしては、自主事業の展開によりヨットハーバーに多くの市民が集まることを目指すという理解でよいか。

【事務局】

ヨットハーバーのマリーナ機能に関することは管理運営業務で実施していただく一方で、それに付随する形で自主事業等による自由な集客事業を展開していただき、広く市民に開かれたヨットハーバーを目指していきたいと考えている。

【委員】

イコールフットィングや苦情の申し立てについては今回新規で追加された項目であるのか。

【事務局】

ヨットハーバーの募集要項に取り入れるのは今回からとなる。なお、苦情の申し立てについては令和5年度に「指定管理者の指定の手続に関するガイドライン」(以下、「ガイドライン」)が改定され、新たに創設されたものである。

(2) 評価項目及び評価基準に関すること

【委員】

賑わいづくりのために指定管理者に求める提案事業について、自主事業を単体で評価する項目がないが、例えば、「福岡市ヨットハーバー評価基準(募集要項別紙3)」3-④や4-①など、提案された自主事業を評価できるような項目もあると思う。自主事業の評価の考え方について伺いたい。

【事務局】

指定管理者の選定に際しては、市企画事業や指定管理者企画事業といった管理運営業務の評価が核となるため、本市のガイドライン上、自主事業を単体で評価する項目を設けることは難しい。

あくまで自主事業は管理運営業務に付随するものと認識していただき、総合的な取り組みが優れていると評価できる場合には、評価基準「1 管理運営方針」にて評

価していただきたい。

【委員】

今回の募集要項では、「ヨットハーバーの賑わい創出」がスローガンのように掲げられているが、これを受けて前回の公募時と評価基準には違いがあるのか。

【事務局】

評価基準「1 管理運営方針」において、管理運營業務と付随する自主事業による取り組みの提案が、ヨットハーバーの設置目的や本市が掲げる賑わい創出の理念に合致した総合的な管理運営方針であると評価できる場合、最大限、事業者を評価したいと考えており、このことから当項目の配点を30点と高めに設定している。この部分が大きな変更点となる。

なお、前回は150点満点の評価基準であったが、今回は160点満点で考えている。

【委員】

採点表に記載の評価基準について、募集要項の公開だけをもって事業者にも伝わるものなのか。

【事務局】

「福岡市ヨットハーバー指定管理者応募書類」10ページ以降に事業計画書の作成例を記載しており、市がどのような提案を求めているのかを明記している。また、募集説明会や募集要項に関する質問の受付期間も設けており、事業者に対しても丁寧に説明していく。

【委員】

採点表自体も事業者に公開したほうがよいと思う。

【事務局】

募集要項等とともにホームページで公開したい。

【委員】

広く市民に開かれたヨットハーバーを目指し、多くの市民が集まるとなると、安全性やヨットのセキュリティ上の問題が生じるのではないかと懸念される。

【委員】

ヨットハーバーが、広く市民に開かれるのは良いことだが、安全対策も必要と思わ

れる。審議事項の趣旨からは逸れるが、ご検討いただきたい。

【委員】

各委員よりご意見、ご質問いただいたが、募集要項、評価項目及び評価基準については事務局原案のとおり承認してよろしいか。

【各委員】

異議なし。